

国際かんがい排水委員会 (ICID) とは

- ICID (International Commission on Irrigation and Drainage) は、かんがい排水に係る科学的・技術的知見により、食料や繊維の供給を世界規模で強化することを目的として、1950年に設立された自発的非営利・非政府国際機関。日本は1951年に加盟。
- 82の国・地域が加盟し、各国は国内委員会を設置。

毎年開催

国際執行理事会

常任委員会

(技術活動委員会、財務委員会等)

委員会

(総会組織委員会、ICIDジャーナル委員会等)

地域作業部会

(アジア地域作業部会等)

作業部会/タスクフォース

(灌漑システム部会、気候変動部会、WWF11タスクフォース等)

3年毎に開催

総会

地域会議

(アジア、アフリカ、ヨーロッパ、アメリカの4地域分かれて会議を開催)

世界かんがいフォーラム(WIF)

日本国内委員会

学術経験者等をメンバーとし、かんがい・排水・洪水等に関する知見の情報の収集・発信

委員：渡邊紹裕委員長（京都大学 名誉教授）等 19名

事務局：農林水産省農村振興局整備部設計課